

(様式 8)

2026 年横浜市内開催国際会議統計調査業務 特定結果

2026 年横浜市内開催国際会議統計調査業務について、公募型プロポーザル方式で、次のとおり受託候補者を特定しました。

1 件名

2026 年横浜市内開催国際会議統計調査業務

2 委託内容

- (1) 調査・分析業務及び報告書の作成業務
- (2) JNT0 国際会議統計調査票の作成業務
- (3) コンベンションカレンダー制作業務
- (4) 横浜市内開催コンベンション調査報告レポート（概要版・詳細版）の更新作業

3 受託候補者

株式会社プリプレス・センター

4 評価結果

提案者	評価点数	順位
株式会社プリプレス・センター	352 点	1
AXIA Marketing 株式会社	291 点	2

5 評価基準・評価委員会開催概要

○評価基準

別紙参照

○委員会開催日時及び開催場所

令和 8 年 7 月 23 日（木）9 時 30 分から 11 時 15 分

横浜市中区山下町 2 産業貿易センター 3 F 302 会議室

評価方法

- (1)出席した評価委員（以下「評価委員」という）は、各評価項目について、配点により6段階評価を行う。
- (2)提案書に評価項目に該当する記載がない場合は0点とする。
- (3)評価委員の過半数が0点と採点した評価項目がある場合には、そのプロポーザルは特定されない。
- (4)提案者が1社の場合、6割以上の得点をもって特定とする。

評価項目	評価の視点	配点
1 調査業務		35
デスクリサーチの妥当性	・成果が期待でき、具体的かつ現実的な調査手法・対象になっているか。 ・JNTO統計基準を満たす国際会議納品件数目標は、現実的かつ求められた件数以上に設定されているか。 （※）JNTO統計基準を満たす国際会議件数目標：165件以上 JNTO国際会議統計調査に採択される可能性がある案件：380件以上	25
その他有益な調査手法の提案	・国際会議の抽出がさらに期待ができる現実的な提案となっているか。 ・サステナビリティに関する調査内容が明確で、現実的な調査手法になっているか。	10
2 不足情報の追加調査		20
国際会議主催者への確認方法の有効性	・主催者へのヒアリング方法は的確に情報が取得できる、現実的な提案となっているか。 ・主催者へのヒアリングにおける回答率向上の工夫は、効果的な提案であるか。	20
3 分析・報告業務		20
分析・報告書の精度	・調査結果分析、経済波及効果の算定において、的確な分析が伴った報告書が期待できるか。	15
その他有益な分析の提案	・調査結果を活用し、国際会議を中心に開催実態を把握する上で有益な提案となっているか。	5
4 当該類似業務実績		15
類似業務の実績	・本業務と類似の業務実績があり、業務を遂行するに当たり有益な知見・ノウハウがあると判断できるか。 ・直近3年以内に、具体的な効果・成果をあげた実績を有しているか。	15
5 事業実施体制		10
実施体制・スケジュール	・業務を確実に実施するための人員が適切に確保され、役割分担が明確であるか。 ・本業務を確実に履行できる現実的なスケジュールとなっているか。	10
合計		100